

# 2009年3月期 第3四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社  
2009年2月6日

# 将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
  - ◆為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動
  - ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
  - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
  - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
  - ◆タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
  - ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況
- 以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

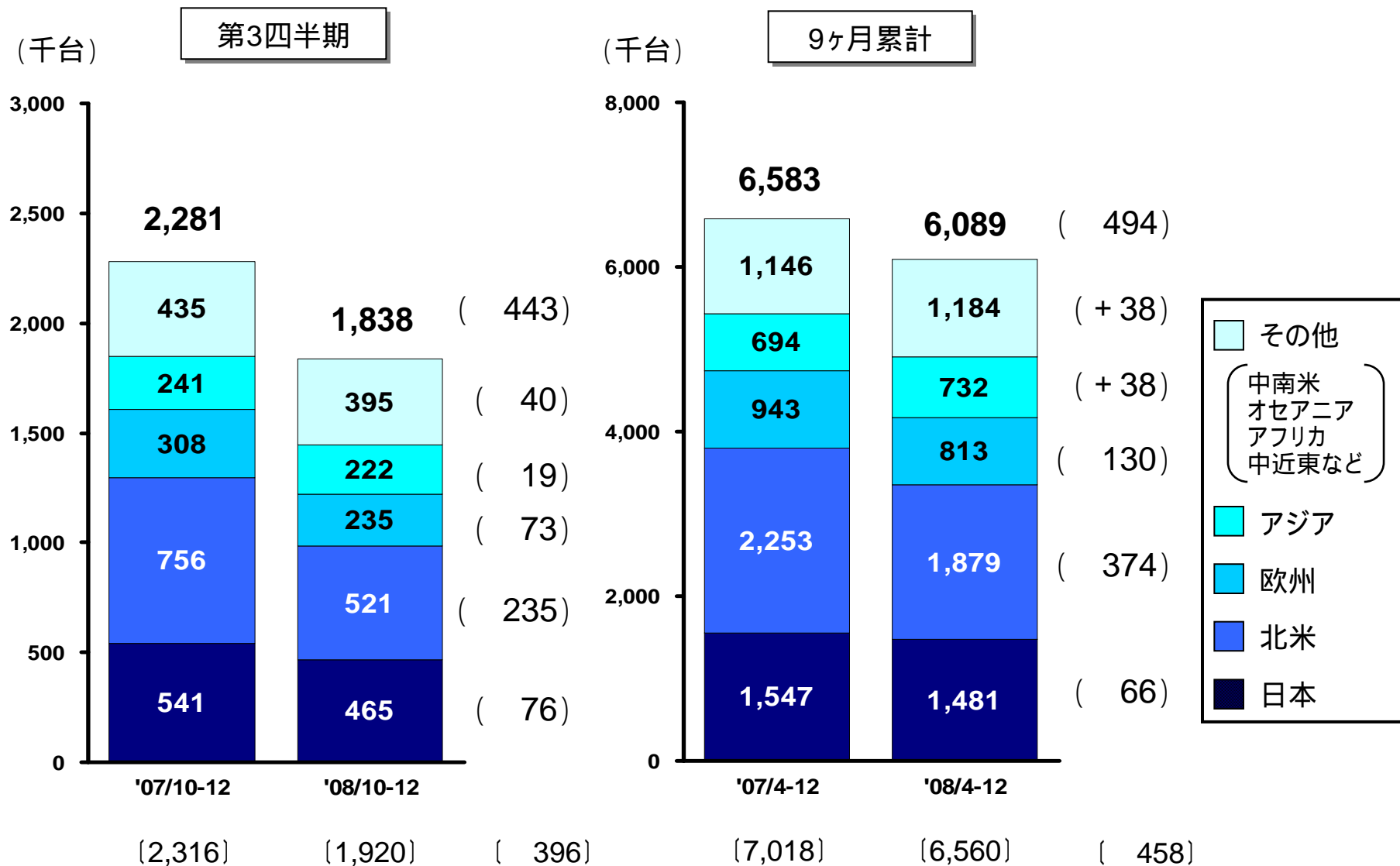
## インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知かつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

**2009年3月期 第3四半期**

**【実績】**

# 連結販売台数



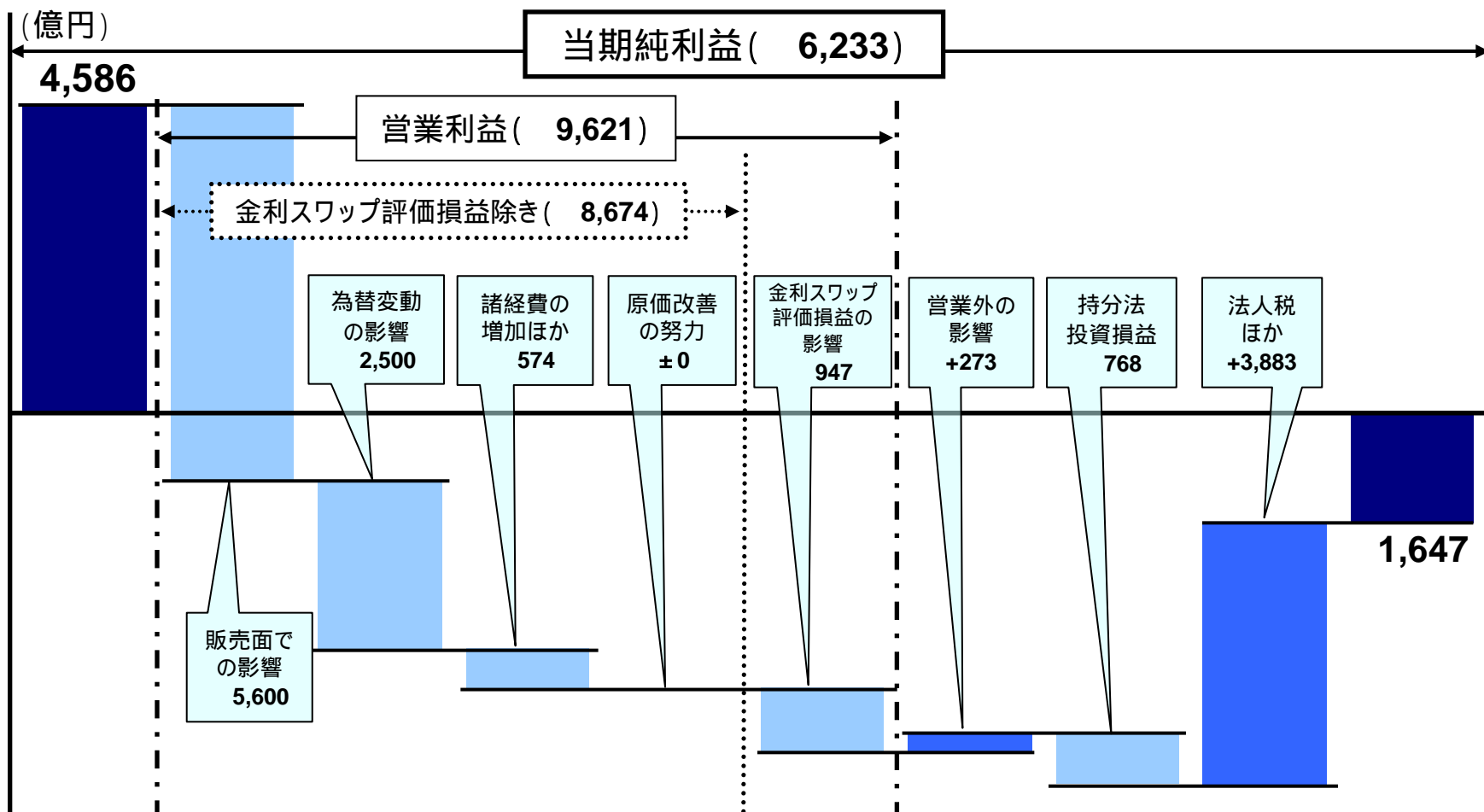
( )は総販売台数(小売)

# 連結決算要約 (第3四半期)

(単位: 億円)

		当第3四半期 ( '08/10-12)	前年同期 ( '07/10-12)	増 減	
売上高		48,028	67,099	19,071	28.4%
営業利益		3,606	6,015	9,621	-
税金等調整前 当期純利益		2,821	6,527	9,348	-
当期純利益		1,647	4,586	6,233	-
為替レート	ドル	96円	113円	17円の円高	
	ユーロ	127円	164円	37円の円高	

# 連結当期純利益増減要因 (第3四半期)



'07/10-12

'08/10-12

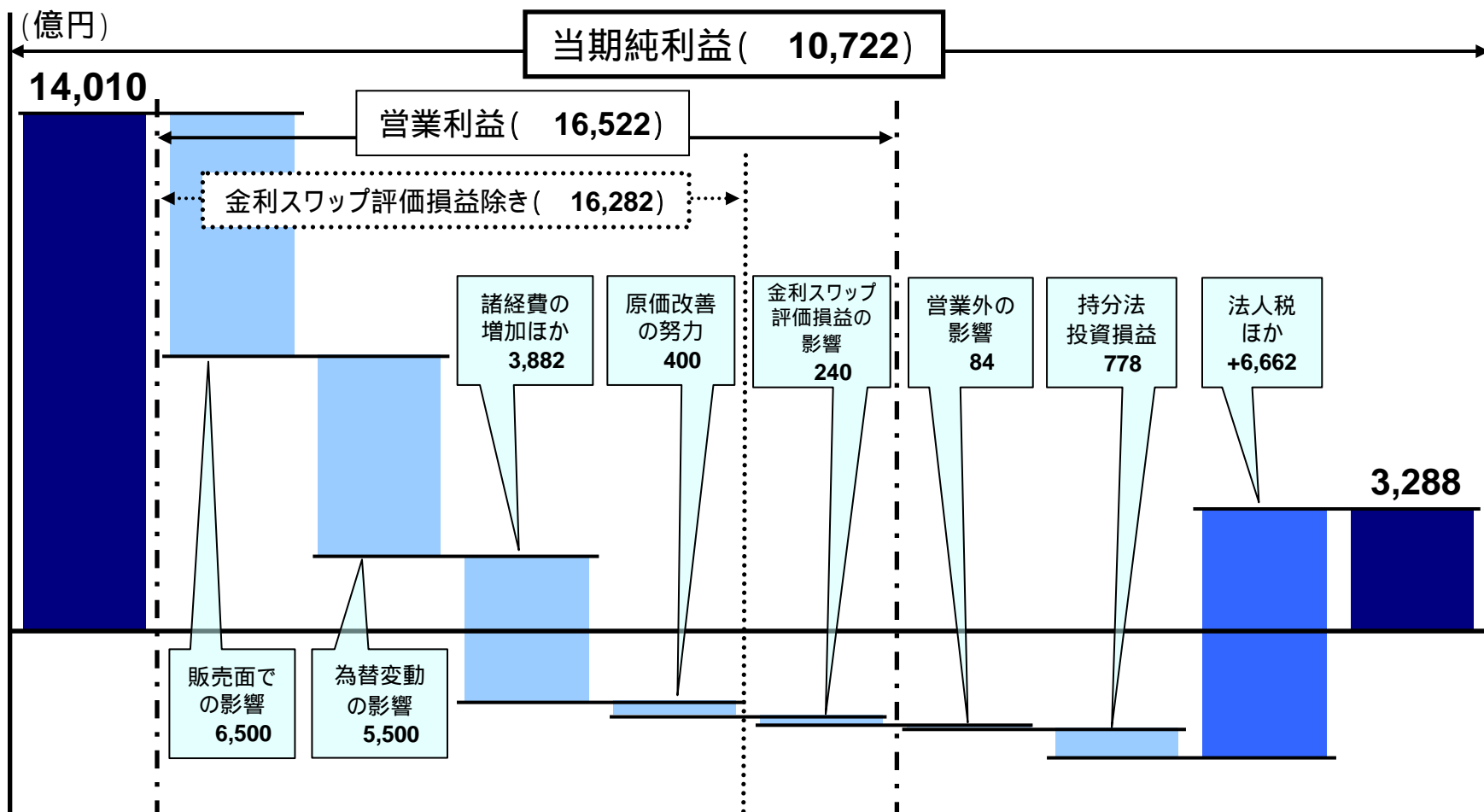
< 諸経費の増加ほか 内訳 >			
研究開発費の減少	+314	減価償却費および 設備関連費用	399
労務費の減少	+152	その他	641

# 連結決算要約(9ヶ月累計)

(単位:億円)

		当第3四半期 累計期間 (’08/4-12)	前年同期 (’07/4-12)	増 減	
売上高		169,932	197,221	27,289	13.8%
営業利益		2,215	18,737	16,522	88.2%
税金等調整前 当期純利益		3,543	20,149	16,606	82.4%
当期純利益		3,288	14,010	10,722	76.5%
為替レート	ドル	103円	117円	14円の円高	
	ユーロ	151円	163円	12円の円高	

# 連結当期純利益増減要因 (9ヶ月累計)



'07/4-12

'08/4-12

< 諸経費の増加ほか 内訳 >			
減価償却費および	531	研究開発費	± 0
設備関連費用		その他	3,049
労務費の増加	302		



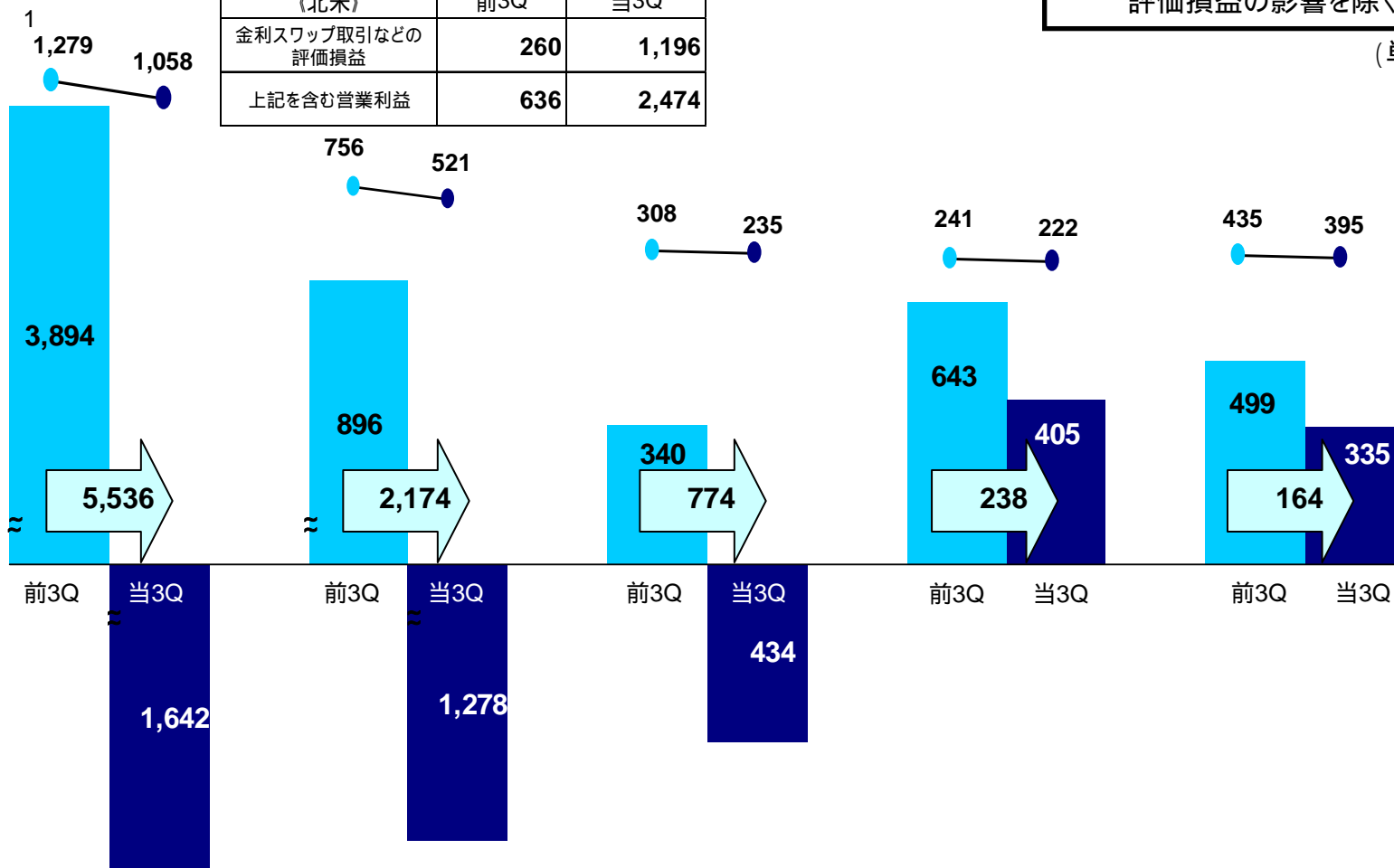
# 所在地別営業利益 (第3四半期)

[連結販売台数] (千台) 1 日本は輸出台数を含む

2 北米のみ金利スワップ取引などの  
評価損益の影響を除く

(単位: 億円)

(北米)	前3Q	当3Q
金利スワップ取引などの 評価損益	260	1,196
上記を含む営業利益	636	2,474



《日本》

《北米》 2)

《欧州》

《アジア》

《中南米・オセアニア・アフリカ地域》

# 所在地別営業利益(9ヶ月累計)

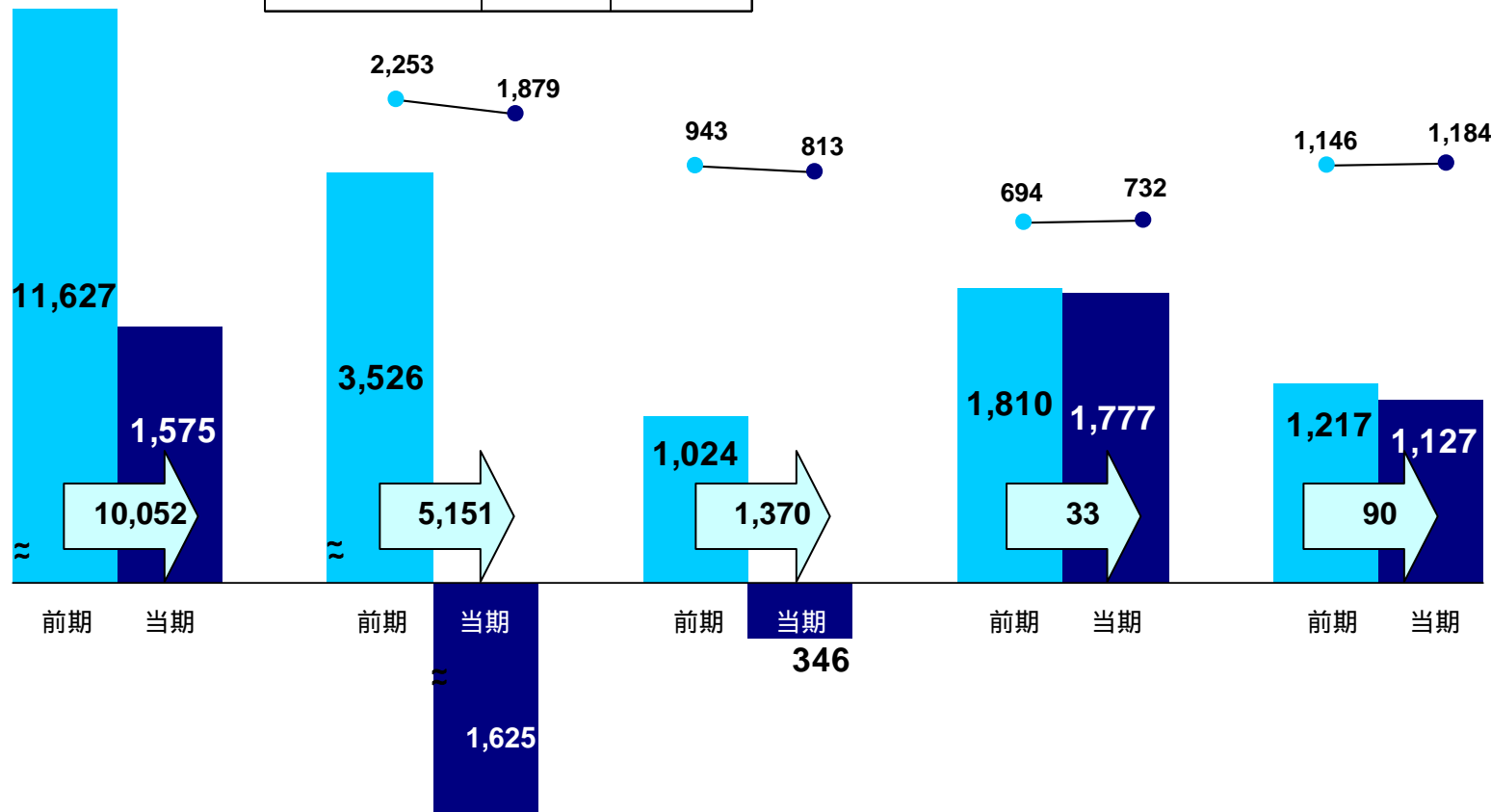
[連結販売台数](千台) 1 日本は輸出台数を含む

1  
3,565 3,377

(北米)	前期	当期
金利スワップ取引などの 評価損益	349	507
上記を含む営業利益	3,177	2,132

2 北米のみ金利スワップ取引などの  
評価損益の影響を除く

(単位:億円)



《日本》

《北米 2》

《欧州》

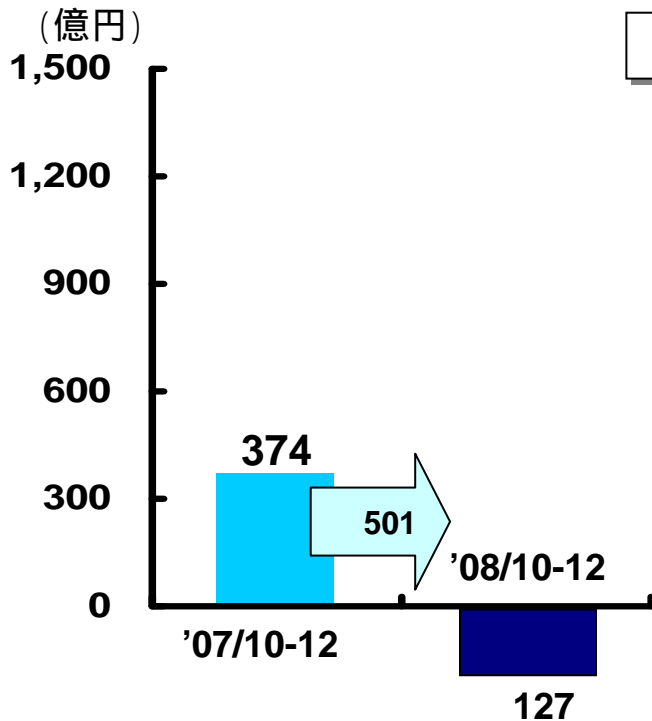
《アジア》

《中南米・オセアニア・アフリカ地域》

# 事業別セグメント：金融

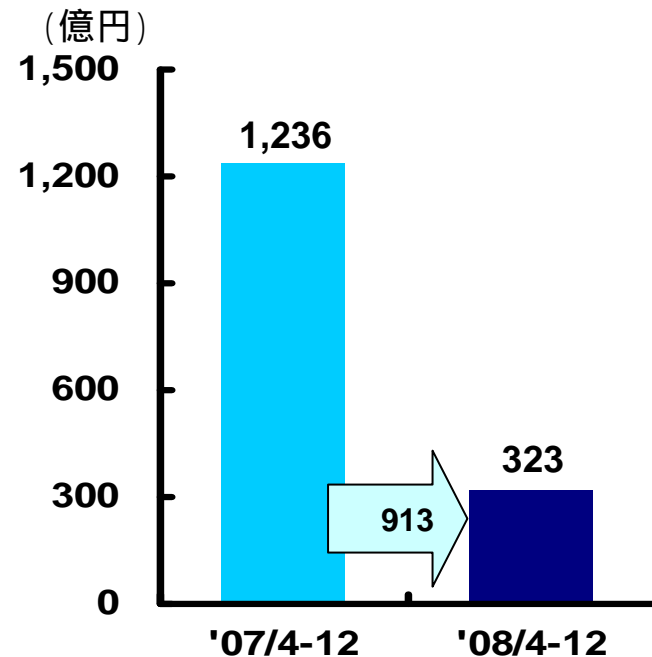
金利スワップ取引などの  
評価損益の影響を除く

第3四半期



	'07/10-12	'08/10-12
金利スワップ取引などの 評価損益	165	1,112
上記を含む営業利益	209	1,239

9ヶ月累計

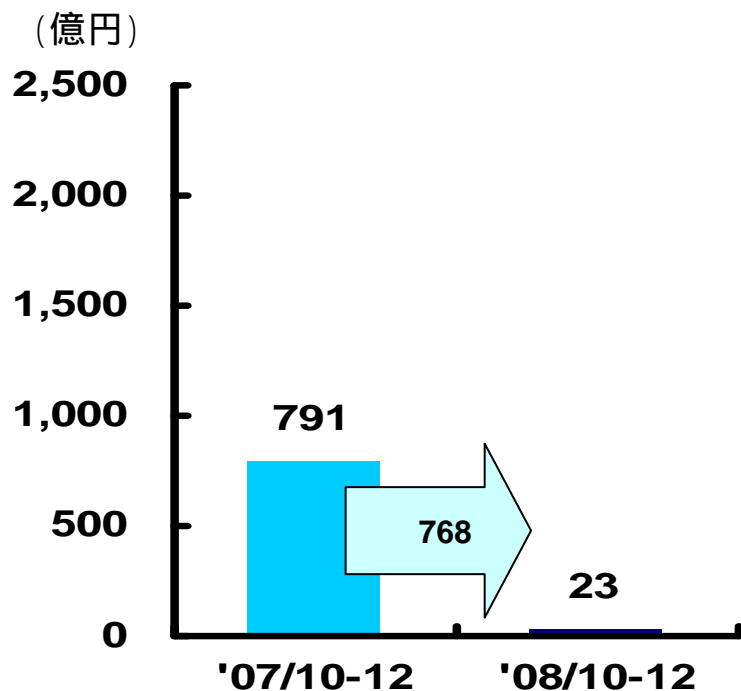


	'07/4-12	'08/4-12
金利スワップ取引などの 評価損益	249	489
上記を含む営業利益	987	166

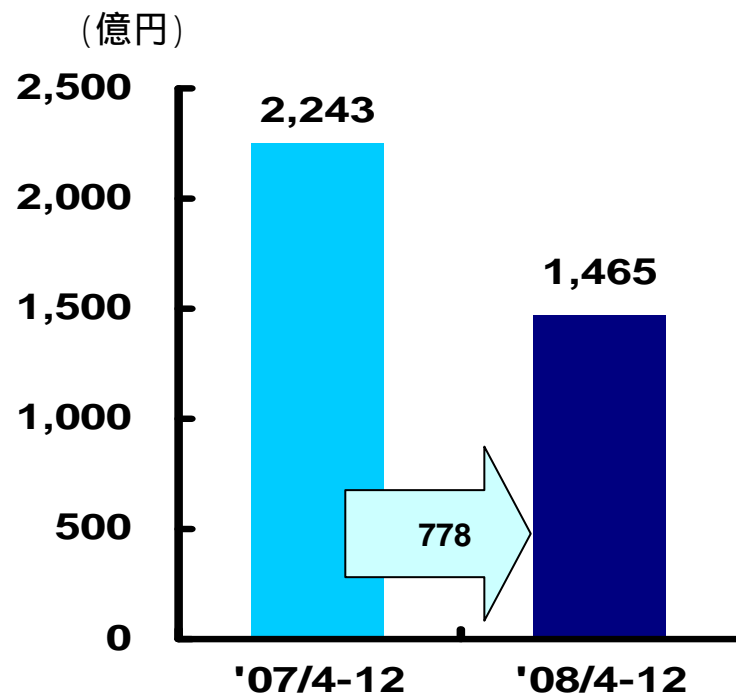
- ・貸倒引当金や残価損失引当金を積み増した影響により、減益
- ・融資利鞘は引き続き拡大

# 持分法投資損益

第3四半期



9ヶ月累計



・市場環境の悪化による国内の持分法適用会社損益の減少により、減益

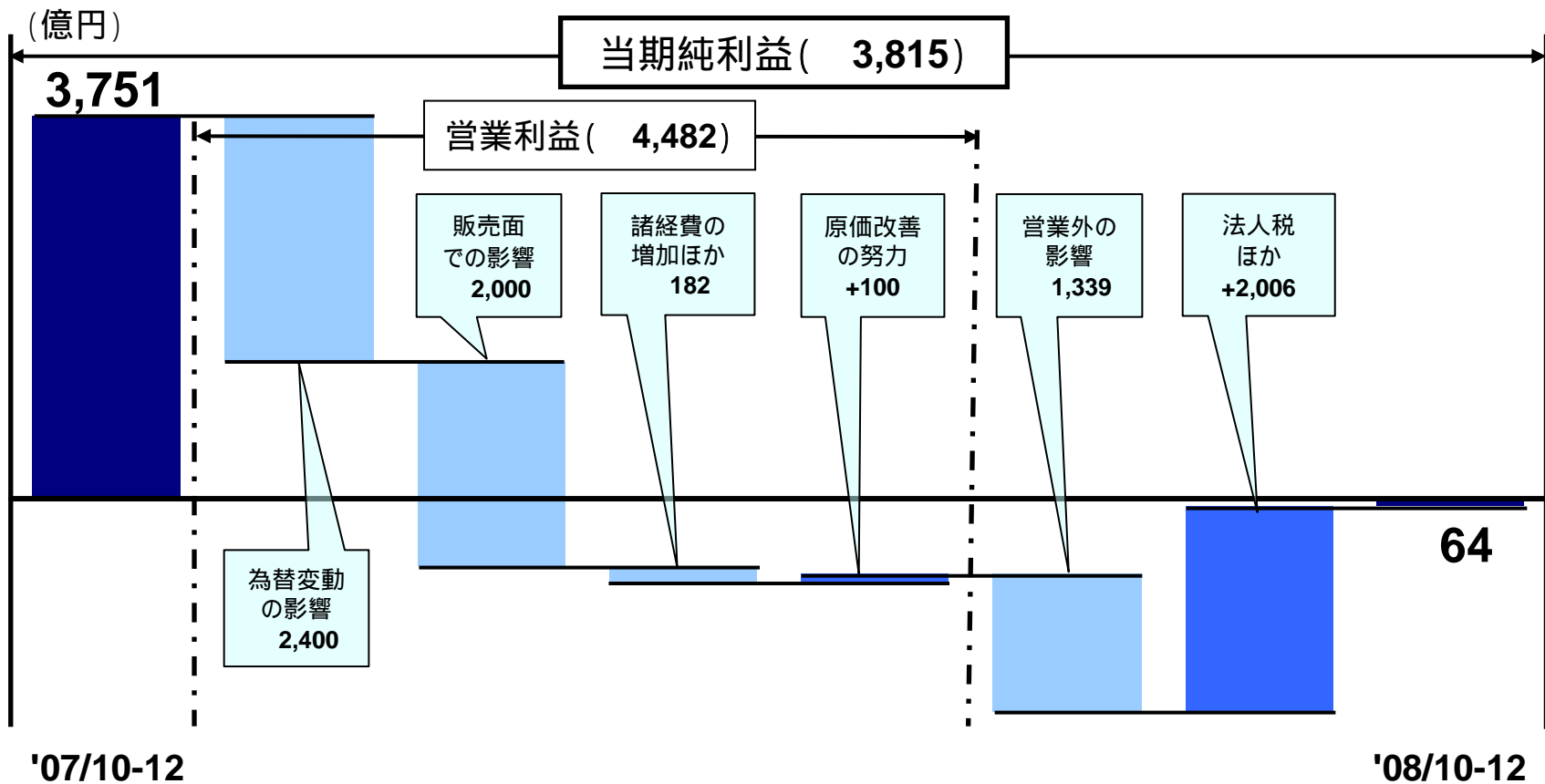
# 单独決算要約 (日本基準・第3四半期)

13

(単位: 億円)

	当第3四半期 ( '08/10-12)	前年同期 ( '07/10-12)	増 減	
売上高	22,922	32,384	9,462	29.2%
営業利益	1,492	2,990	4,482	-
経常利益	834	4,987	5,821	-
当期純利益	64	3,751	3,815	-

# 単独当期純利益増減要因 (第3四半期)



## < 諸経費の増加ほか 内訳 >

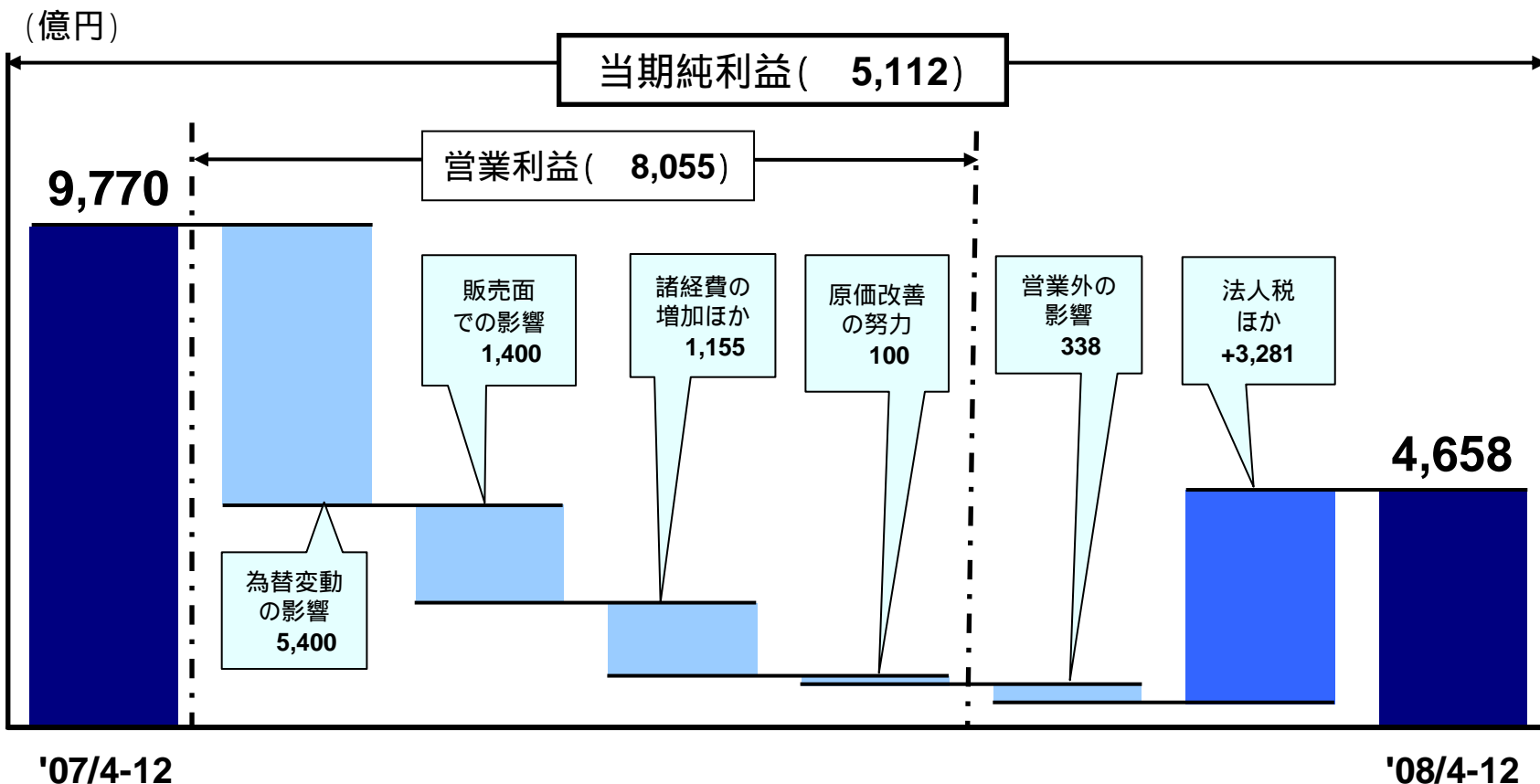
労務費の減少 .....	+238	その他 .....	618
研究開発費の減少 .....	+316		
減価償却費および 設備関連費用 .....	118		

# 単独決算要約(日本基準・9ヶ月累計)

(単位:億円)

	当第3四半期 累計期間 ( '08/4-12)	前年同期 ( '07/4-12)	増 減	
売上高	79,414	89,756	10,342	11.5%
営業利益	1,033	9,088	8,055	88.6%
経常利益	5,118	13,511	8,393	62.1%
当期純利益	4,658	9,770	5,112	52.3%

# 単独当期純利益増減要因 (9ヶ月累計)



## < 諸経費の増加ほか 内訳 >

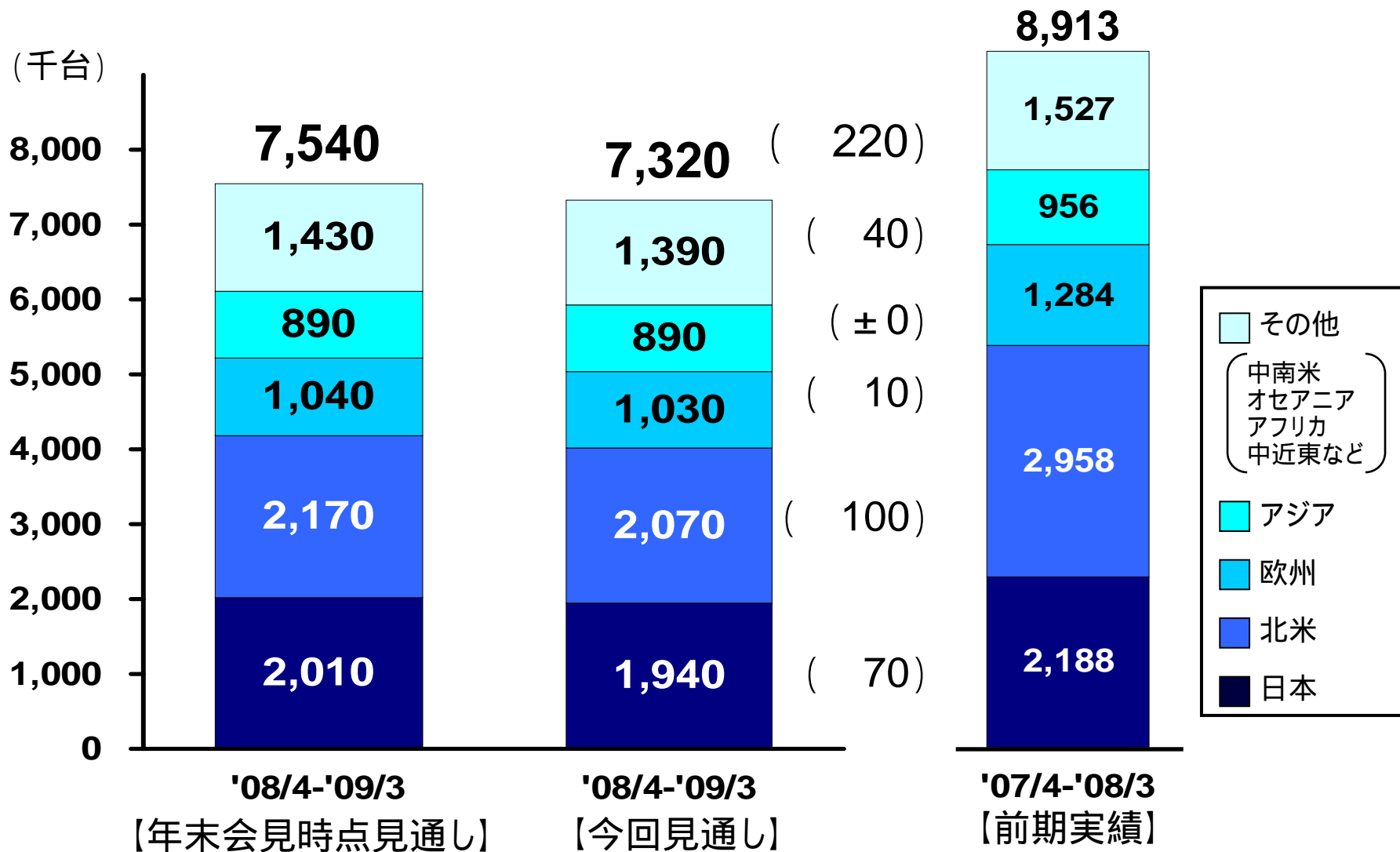
労務費の減少 .....	+97	その他 .....	1,234
研究開発費の減少 .....	+19		
減価償却費および 設備関連費用 .....	37		



**2009年3月期**

**【通期見通し】**

# '09 / 3期見通し: 連結販売台数



# '09 / 3期見通し: 連結決算

19

(単位: 億円)

		今回見通し ( '08/4-'09/3)	年末会見時点 見通し ( '08/4-'09/3)	増 減	前期実績 ( '07/4-'08/3)
売上高		210,000	215,000	5,000	262,892
営業利益		4,500	1,500	3,000	22,703
税金等調整前 当期純利益		5,000	500	4,500	24,372
当期純利益		3,500	500	4,000	17,178
為替レート	ドル	100円	100円	-	114円
	ユーロ	143円	143円	-	162円

\* 後半期の前提為替レート: ドル = 93円、ユーロ = 123円  
( '09年1月以降の前提為替レート: ドル = 90円、ユーロ = 115円)

**TOYOTA**

# '09 / 3期見通し増減要因 (連結決算)

(単位:億円)

		営業利益
年末会見時点見通し('08/4-'09/3)		1,500
原価改善の努力		±0
為替変動の影響		±0
販売面での影響		2,100
諸経費、その他	一般経費の削減	±0
	金利スワップ評価損、他	900
合計		3,000
今回見通し('08/4-'09/3)		4,500

(ご参考)'09/3期見通し増減要因[vs前期実績](連結決算)

21

(単位:億円)

	営業利益
前期実績('07/4-'08/3)	22,703
原価改善の努力	+200
為替変動の影響	8,900
販売面での影響	13,900
諸経費の増加ほか	4,603
合計	27,203
今回見通し('08/4-'09/3)	4,500

# 通期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位：億円)

	設備投資	減価償却費	研究開発費
連結計	14,000 ( 802)	11,000 (+576)	9,200 ( 388)
日本	8,200 ( 431)	6,900 (+769)	
北米	3,200 ( 143)	2,100 (+65)	
欧州	1,400 (+241)	1,000 ( 10)	
アジア	600 ( 484)	600 ( 212)	
その他	600 (+15)	400 ( 36)	

( )内は'07/4-'08/3実績からの増減

# '09/3期見通し: 単独決算

23

(単位: 億円)

	今回見通し ( '08/4-'09/3)	年末会見時点 見通し ( '08/4-'09/3)	増 減	前期実績 ( '07/4-'08/3)
売上高	94,000	95,000	1,000	120,792
営業利益	2,500	2,200	300	11,086
経常利益	1,600	2,200	600	15,806
当期純利益	300	2,200	1,900	11,381

# 通期見通し:台数等(トヨタ・レクサス)

		今回見通し ( '08/4-'09/3)	前期実績 ( '07/4-'08/3)
生産	国内	3,400 千台	4,264 千台
	海外	3,680	4,424
合計		7,080	8,688
国内販売		1,350	1,595
輸出		2,140	2,708
海外現地販売		6,020	6,923
住宅		4,500 戸	4,622 戸



## 1. 『売上の最大化』

～ 各地域のお客様ニーズに対応した  
新たな商品ラインアップの構築～

### ・短期的な施策

- ・各地域において商品ラインアップのさらなる拡充

### ・中期的な施策

- ・HV車などの環境対応車の開発を強化
- ・資源国・新興国向け商品の充実

## 2. 『総費用の低減』

～ 効率的な開発・生産・販売体制の構築～

徹底的な原価低減

- ・ 緊急VA活動の拡大

固定費10%削減

- ・ 設備投資：新工場・能増の中止、延期  
現有能力を最大限に有効活用
- ・ 開発費・販売費：環境分野に重点配分
- ・ 労務費：適切かつきめ細やかな対応

# 2009年3月期 第3四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社  
2009年2月6日